

第三回全國保育大會の記



全國保育連合會

全國保育連合會も第三回の全國保育大會を開くことになって、誠にうれしいことと云はなければならない。

新潟——佐渡——唄の國

佐渡へ佐渡へと草木もなびいたか、千三百名の大盛會、七月二十八日、新潟では四十五年來の暑さだと云う。會場の白山小學校でうだる様な暑さの中で熱心なる會が始まる。

第一日——開會式、

内山事務局長の開會の辭の前に、新しく發表された保育の歌「花のおさなご」の齊唱あり。

倉橋會長の式辭を小川副會長が朗讀し、厚生、文部大臣の祝辭、知事、市長の祝辭、民事部の祝辭あり。式をとちて議事に入る。議長推舉——瀧澤正直氏を推す。總會議題、1 議會へ代表を送る件、2 幼児を通しての平和運動 3 保育者のアメリカ及内地留學の三件について活潑な討議あり、午前中に終了。午後は三分の分科會に別れて、熱心に協議を進めた。

第二日——午前中は昨日の續きの分科會、午後は各地區から出された方々による實際に即した研究發表があつた。

夜は六時半から、郷土藝術の夕が開かれ、越後獅子、佐渡甚句に佐渡おけさ等、ローカルな匂の豊かな御馳走に一同酔わされてしまつた。おけさにアンコールを送る等前代未聞の光景が開された。

第三日——記念講演會、山下講師、東北民事部ボツ博士、新潟保育連合會代議員會が開かれて、本會の新しい機構が作られた、

會 長 倉 橋 惣 三
副 會 長 附 元 彦 太 郎
同 根 岸 マ ツ エ

事務局長	内山憲尙
同次長	青柳義智代
事業部長	秋田美子
組織部長	田頭晴彌
庶務部長	山村きよ
財務部長	鈴木とく

▲別に事務局次長格役員一名をおく。

次回開催地は九州地區に決定した。

十一時から、閉會式が舉行され、ボツツ、クルース兩氏ら參加、山崎代表の謝辭あり、保育の歌をもつて式をとちた。

佐渡見學——六百名と云う大勢で、佐渡としても終戦後始めての大團體である。島をあけての大歓迎、三時發の白山丸で荒海を渡る。少し波が高かつたので般内はおとなしい状態にあつた。

六時前、兩津着、それぞれ旅館に分宿する。八時から町の橋本座で歡迎會があり、土地の加茂湖會の若手連中が、兩津晉頭やおけさを見せてくれる。熱心な先生たちは十二時半、一時まで、おけさの練習をしていた人たちもあつた。

見學第二日目は、早朝兩津を十四臺の大型遊覧バスにのつて、十時、金澤村着、金澤小學校に於ける歡迎會に臨む。古い傳統を持つ能と佐渡特有の文彌人形（のろま人形）の實演を見せて貰う。相川町から、尖閣灣を舟に分乗して觀光、夜は相川と河原田に分宿した。

第三日は相川を九時に發して、眞野の陵日蓮上人の遺跡等

を見る。新穂村で、郷土藝術、鬼太鼓を見せて貰う。二時に兩津に着いて、おけさ丸で新潟に向う。佐渡の人たちの五色のテープも美しく、螢の光のレコードと共に、なつかしの佐渡は視野から遠ざかつて行つた、

かくて、新潟第三回保育大會の三日の大會、二日の見學は感謝と感激の裡に無事に終つた。

今回の大會をお引き受け下さつた北陸地區の皆様、ことに地元新潟の方々の御親切な心持ちと全力をあけての御働きに對して心から御禮を申し上げて筆を擱く次第である。

研究發表

一、幼稚園・保育所の一元的運営の實際について（東北地區）
宮城縣鹽釜保育所長・聖光幼稚園長 齋藤久吉氏 二、北陸地方における幼児の保育について 石川縣石川師範附屬幼稚園 新山澄子氏 三、楽しい園生活への導き 福井縣津邊谷子氏 四、越後の保育と手づくりの玩具 新潟縣直江津町第一保育所 勝木とみ子氏 五、一あそびの研究 山梨縣甲府市穴切幼稚園長古原喜男氏 六、園籍簿について 三重縣保育連盟會長 杉森武夫氏 七、園外保育の實際について 高田市高田幼稚園 竹下キク氏 八、幼児發育の狀況といろ／＼の觀察 富山縣福光町保育園坂田登喜子氏 九、保育要領に表はれた一劇（あそび）の實際について（關東地區）東京都港區西櫻幼稚園教諭 山村きよ氏 十、幼児のうたとゆうぎについて（九州地區）福岡縣南蕨保育園長 藤田貞雄氏

記念講演會

一、兒童の福祉について 東北民事部ボツツ博士 二、家庭生活の代行機關はあり得ない 新潟縣民事部民生厚生課長クルース氏 三、幼児教育における經驗の意義 日本保育學會副會長 山下俊郎氏